2026 年度 講座・出前授業報告書 No. 20

開催日時	2026 年 9 月 25 日（金）　開始時間　8：40　　終了時間　12：05						
開催場所	当麻田小学校						
実施内容	プラスチック						
学年、組、等	4 年 1 組		4 年 2 組				参加児童数計
児童数	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	
	28	1	27	2			55
スタッフ	7 名	実施機関スタッフ		4 名			

1　概要

現在広く使われているプラスチックについて、良いところと残念なところを児童に考えてもらった後に資料及び実験により実際の状況を示し、残念なところの影響を減らすためにどの様に対応すべきかを児童に考えてもらった。

2　実施内容

①プラスチックは現在広く使われているが、ヘチマタワシや木製洗面器など昔はプラスチック以外の自然の素材で現在と同様の機能を持ったものが使われていたことを紹介すると共に、教室内にあるプラスチック製品は何があるか児童に答えてもらった。

②プラスチックの良いところと残念なところについて児童に考えてもらい、それを書き出してもらった。残念なところとして焼却時に二酸化炭素を排出すること、及び自然には壊れにくいため廃棄された場合プラスチックのまま残り、土などに帰らないことなども説明した。

③プラスチックが自然界に廃棄され川や海に流れる場合が想定されるが、その後どのようになるかを考えるため数種類のプラスチックを水と塩水に入れ、浮くか沈むか児童に予想し実験で確認してもらった。これによりプラスチックの種類により浮くもの、沈むものがあることを理解した。

④海に流れた廃棄されたプラスチックは小さくなり、魚が食べてしまう場合があることを説明した。その後児童が煮干しを分解して胃などを確認し、リーダーがマイクロスコープによる胃の内部の映像を児童に見せ、エビらしいものやプラスチックの繊維らしいものを児童に見せた。

⑤相模原市では来月からゴミの回収方法が変更され、ゴミとして回収するプラスチックの対象が拡大することを説明した。

⑥最後に今回の出前授業で分かったこと、今後どうするかを児童に考えてもらった。

3　良かった点、課題点など

①今回ワークシートに書かれた出前授業後の児童の感想は次のようなものであった。今回の出前授業の内容が児童に理解されたと思われる。

・プラスチックの良いところ、残念なところを理解した。
・自分たちの体にプラスチックが入っているかもしれないことを知りびっくりした。
・４R に取り組み、廃棄する場合は分別廃棄する。

②プラスチックの浮き沈みに関し児童独自の実験を試みた事例があり、このような姿勢が見られたことは良かった。

③今回は児童自身による煮干しの胃の中の観察は行わなかったが、授業後に担任の先生から胃の中の観察も行ってもらいたいとの希望が寄せられた。今後どうするかは検討する必要がありそう。






